



避難所生活の過酷さを身をもって体験 区内高校生約300人が宿泊訓練を実施

と き 平成28年5月2日(月)午後1時10分～5月3日(火)午前8時15分

と ころ 都立光丘高等学校(練馬区旭町2-1-35)および都立光が丘公園(練馬区光が丘4-1-1)

5月2日(月)、練馬区立防災学習センターは、都立光丘高校(旭町2丁目)の1年生約280人と教師約20人とともに、避難所となる体育館での宿泊体験を始めとした防災学習を実施した。

熊本地震により、現在も約2万2千人※近くの方が避難所での生活を余儀なくされている。このような中で高校生は、災害発生時における自助・共助の大切さや、「助ける側」になるための行動等について防災学習センターの職員から映像を交えた説明を聴き、一人ひとりが支えあう社会の大切さを学んだ。

また、実際に阪神・淡路大震災で被災した鈴木裕子さん(心のあかりを灯す会会長)は「高校生でも地域における役割がある。その役割を見つけ、全うしてほしい。」と話し、体験談を聴いた高校生は、「訓練を行う前と今では防災に対する意識が変わりました。自分たちのできることをしっかりと取り組んでいきたいです。」と話してくれた。

その後、高校生は体育館での宿泊を体験し、避難生活の過酷さを学んだ。訓練ではこのほか、起震車体験や近隣町会の方々と協力して行う炊き出しなど実践的な訓練を行い防災への意識を高めた。

(※避難者数は、内閣府HPより。1日13:30現在のもの)



▲ 宿泊訓練の様子

【 宿泊訓練の内容 】

- 5月2日(月) 午後8時00分～ 過去の地震災害等の説明・映像鑑賞
- 午後8時20分～ 阪神・淡路大震災を体験した方の講話
- 午後9時00分～ 練馬区の防災対策等について・映像鑑賞
- 午後9時10分～ 訓練の振り返り(グループワーク)
- 5月3日(火) 午前6時30分 起床、朝食後解散(午前8時15分散散予定)

【その他の訓練】

- 午後1時10分～ 避難訓練(学校から光が丘公園へ避難)
- 午後2時10分～ 起震車体験・災害用トイレ組立(光が丘公園内 下水直結式トイレ設置場所)
応急給水訓練(都立光が丘公園から学校へ運搬)
- 午後4時00分～ 救急救命講習
- 午後6時00分～ 毛布搬送後、食事

【 参考 】練馬区立防災学習センターについて(平成26年4月開設)

防災にかかる人材育成や普及啓発機能に特化した、練馬区では初の防災学習施設。区民の防災に対する意識の向上を図り、地域において活動する人材を育成する「ねりま防災カレッジ事業」の中心的な拠点として運営。子どもから大人まで、区民が自ら防災について学べるよう、図書資料や映像資料等の閲覧ができる「防災展示室」や、各種防災講座を実施する「防災研修室」を設置している。

また、本センターでは、区民からの防災に関する各種相談受付なども行い、夏休み期間中には小中学生が防災の基礎を学べる講座なども実施している。

【 参考 】心のあかりを灯す会について

練馬区防災・安全推進協議会「心のあかりを灯す会」(鈴木裕子会長)は、区内小中学校のPTAなど保護者が中心となり、防災に関する様々な活動を通じて次世代を担う子どもたちに対し、「命」の大切さや人への思いやりを伝えている団体。普段は区内の小学校、幼稚園、保育園などに区職員と一緒に出向き、人形劇、紙芝居などを使った防災教育を行っている。

【問い合わせ】練馬区 防災学習センター 電話03-5997-6471